

データから振り返る大阪・関西万博

► 大阪・関西万博では、多様な人々がひとつに繋がり、交流をする中で、万博を共に創り上げた。

大阪・関西万博のキーワード：『共創』

○来場者（延べ約2,902万人）

来場者アンケート回答人数 約120万人

総合的に満足したとのアンケートへの回答 74.9%

○バーチャル万博アクセス数（約3,183万回）

出展者（338者）

○万博の魅力を発信したSNS投稿数（約860万投稿）

※X、Facebook、YouTube、Instagramを対象に協会が推計

※調査期間：2025年1月1日～12月15日

※対象ハッシュタグ：#EXPO2025、#大阪関西万博（#大阪・関
西万博）、#EXPO2025Forever

○ボランティア（約1.8万人）

○ゲストサービスアテンダント（約0.1万人）

○清掃関係スタッフ、医療・救護関係者、警備スタッフ、 警察・消防・衛生関係者（合計 約1.7万人）

○営業店舗関係者（約1.8万人）

○パビリオンで勤いたスタッフ

○協会事業（会場の設計・建設・解体・維持管理等）に 携わってくださった者・企業関係者

○交通輸送関係者（約5.0万人）

○物流関係者（約0.3万人）

○博覧会協会役職員等（設立以来 約2,000人）

○公式参加者 158の国と地域、7つの国際機関

○国内パビリオン出展者（17者）

○寄付者（約2,300者）

○協賛者（924者）

※未来的都市、水上ショー、自動運転等の次世代・先端技術の会場での実証や
実装、テーマ事業、テーマワールド、万博の広報・運営等に関する協賛等

○会場内の展示やイベントに参加した自治体（全国500以上）

○「TEAM EXPO 2025」プログラムに会場内外で参加した方（共創チャレンジ・ 共創パートナー登録数 合計2,931件）

○イベント関係者（約15.6万人）

○シニアアドバイザー、プロデューサー、ディレクター、協議会等にご出席の 有識者の皆様

○音楽・建築デザイン・アート関係者

○アンバサダー、スペシャルサポートーの皆様

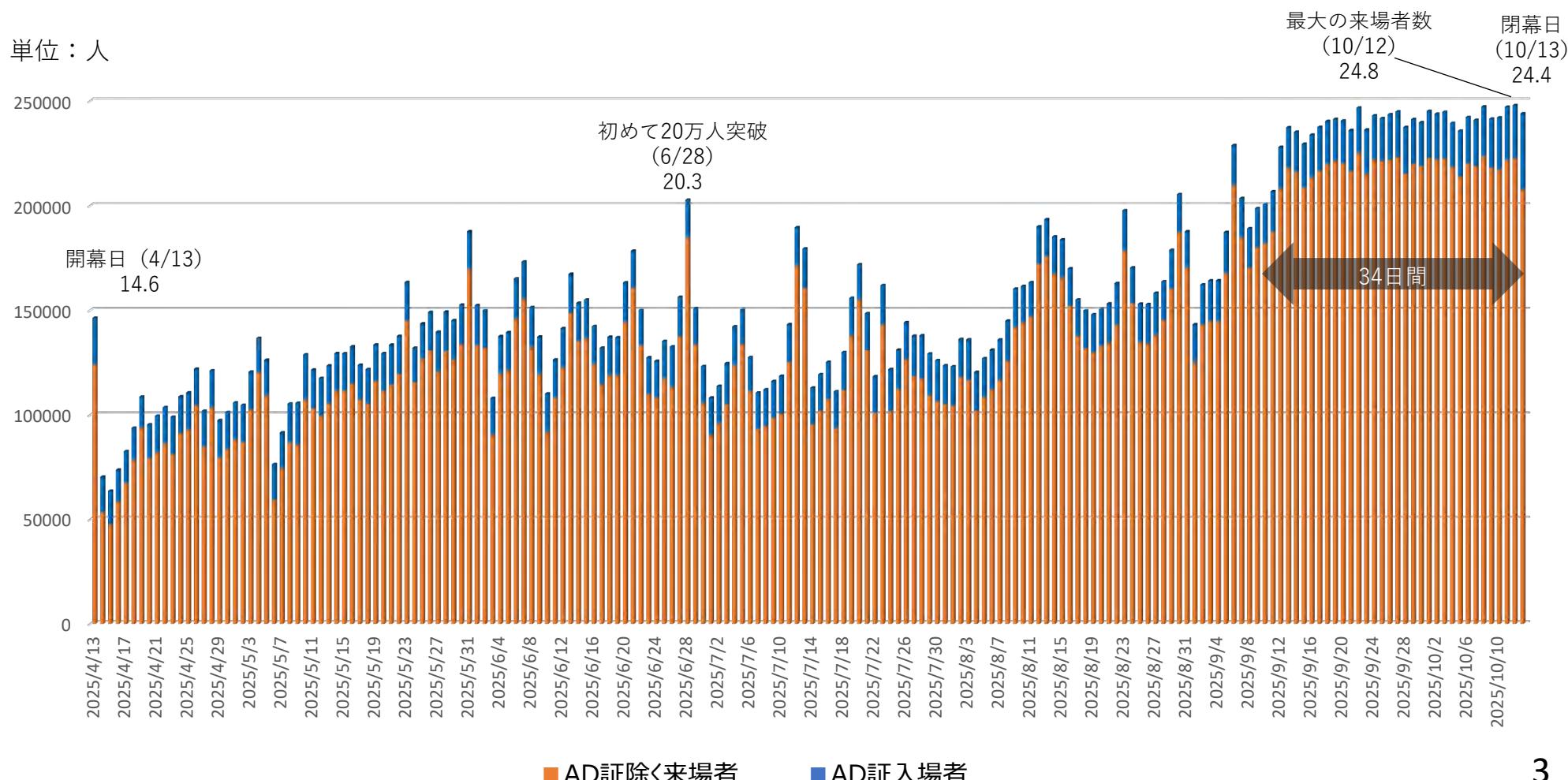
○メディア関係者（約2.1万人）

※ボランティアは会場ボランティア・大阪まちボランティアの活動人数。ゲストサー
ビスアテンダント、イベント関係者、清掃関係スタッフ、医療・救護関係者、警備
スタッフ、警察・消防・衛生関係者、営業店舗関係者、物流関係者、メディア関係者に
ついては、関係者入場証の通常発行数。

来場者に関するデータ

1. 来場者数の推移

- 2025年大阪・関西万博の累計来場者数は 2,902万人 (AD証入場者除き : 2,558万人)
- 通期 (4/13~10/13) の1日平均来場者数 : 15.8万人 (AD証入場者除き : 13.9万人)
- 累計来場者数は、100万人 (4/23)、500万人 (5/26)、1000万人 (6/29)、1500万人 (8/6)、2000万人 (9/5)、2500万人 (9/27)を、次々と達成。また、9月10日以降、来場者数は連続34日間で20万人を超えた。



(参考) チケット及び万博IDに基づく来場者年代構成

図1：チケット券種別来場実績

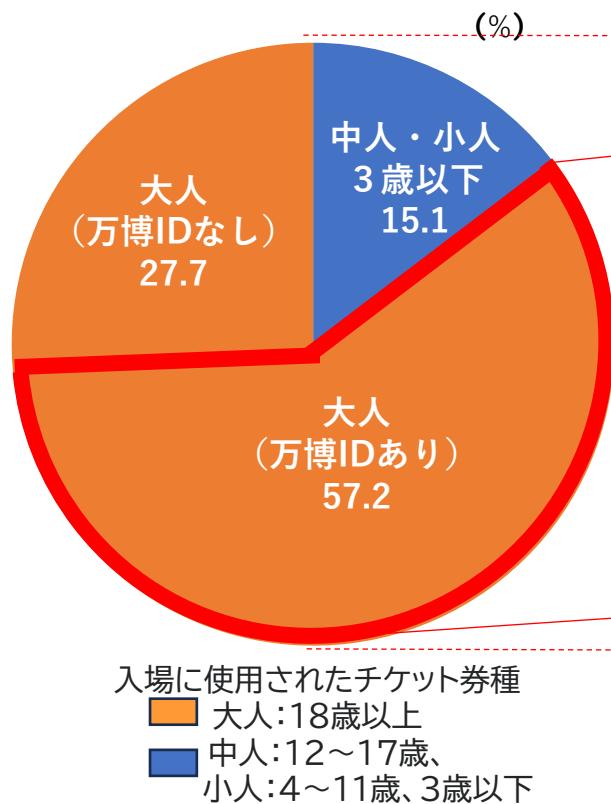


図2：大人券で入場者うち
万博ID登録者の年代構成

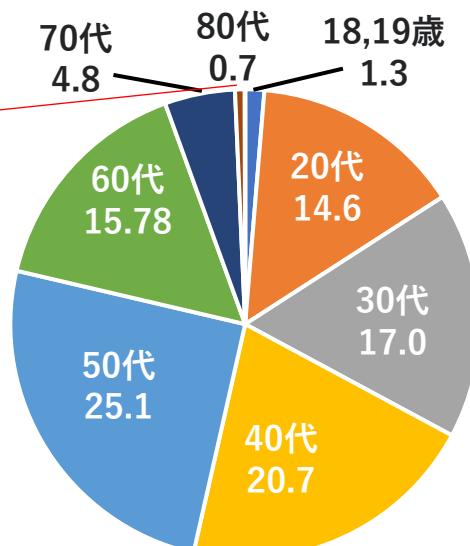
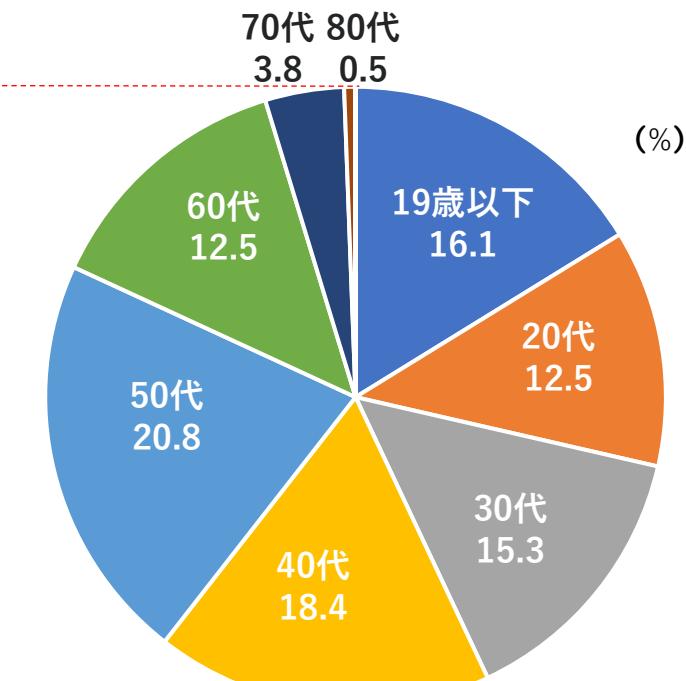


図3：チケット入場者の年代構成比推計

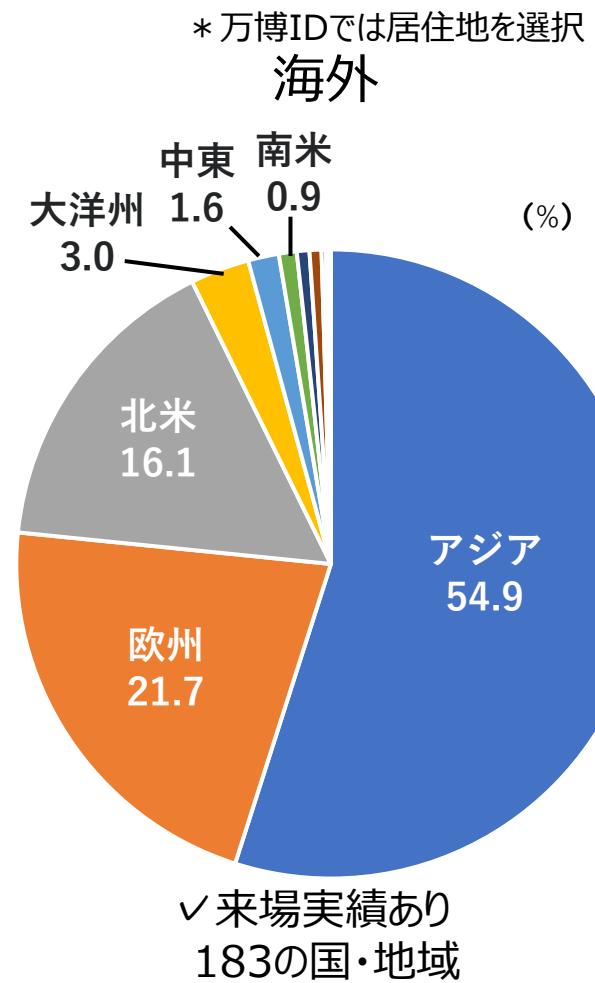
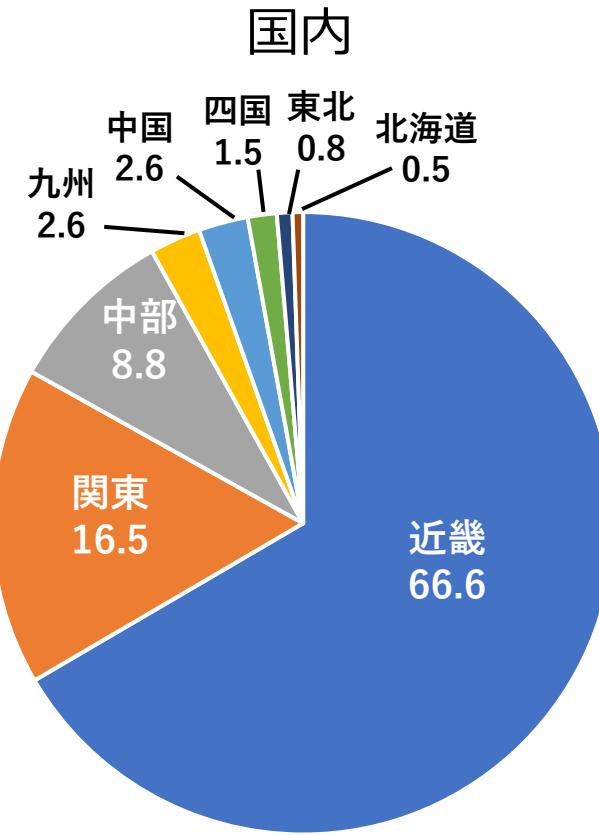
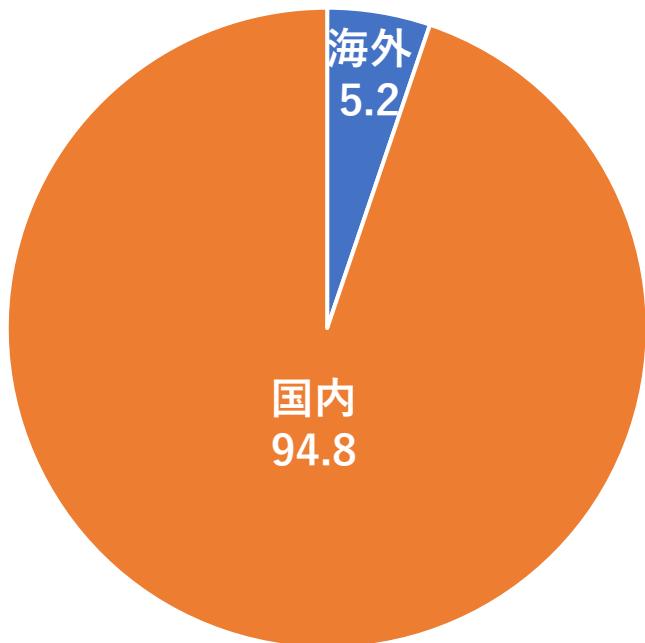


※大人券で入場された方の年代構成比が、万博IDを登録されて入場された方の年代構成比（図2）と同じであると仮定したうえで、中人・小人・3歳以下の来場割合（図1）を足し合わせることで構成比推計

(参考) 教育旅行関連の来場者数は、校外学習、修学旅行、自治体招待事業などで合計130万人程度

(参考) 万博IDに基づく来場者の居住エリア

国内・海外
来場者構成比



(参考) インバウンド来場者数は、万博IDに基づく海外比率5.2%、AD証入場の海外比率19.8%を踏まえ、累計来場者数2902万人のうち、推計約200万人・6.9%程度（うちAD証入場者は約68万人）

(参考) 万博IDに基づく来場者の都道府県別割合

NO	都道府県	構成比
1	大阪府	41.16%
2	兵庫県	12.80%
3	東京都	7.98%
4	愛知県	4.85%
5	京都府	4.56%
6	神奈川県	3.61%
7	奈良県	3.52%
8	滋賀県	2.18%
9	埼玉県	1.90%
10	千葉県	1.90%
11	福岡県	1.23%
12	三重県	1.21%
13	和歌山県	1.15%
14	静岡県	1.04%
15	広島県	0.98%
16	岡山県	0.90%
17	岐阜県	0.89%
18	茨城県	0.56%
19	北海道	0.55%
20	香川県	0.48%
21	石川県	0.46%
22	愛媛県	0.44%
23	福井県	0.43%
24	徳島県	0.42%
25	長野県	0.38%

NO	都道府県	構成比
26	富山県	0.35%
27	山口県	0.32%
28	宮城県	0.31%
29	熊本県	0.30%
30	群馬県	0.30%
31	栃木県	0.30%
32	新潟県	0.26%
33	鹿児島県	0.25%
34	大分県	0.20%
35	鳥取県	0.20%
36	沖縄県	0.20%
37	長崎県	0.18%
38	島根県	0.17%
39	高知県	0.17%
40	福島県	0.17%
41	山梨県	0.16%
42	宮崎県	0.16%
43	佐賀県	0.13%
44	山形県	0.10%
45	青森県	0.09%
46	岩手県	0.08%
47	秋田県	0.07%

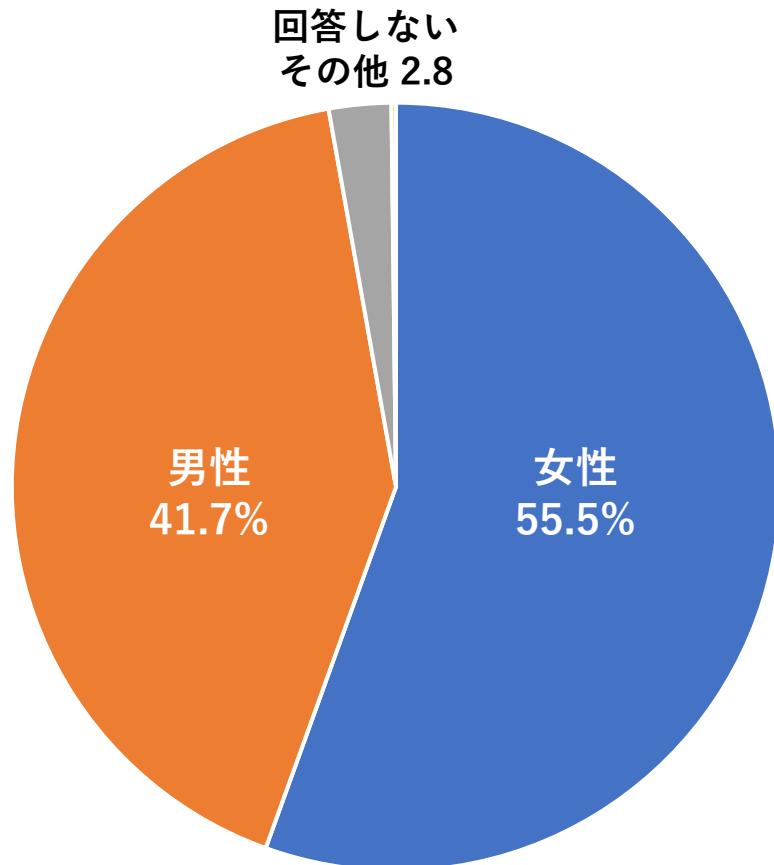
(参考) 万博IDに基づく海外来場者の国・地域別割合

NO	国・地域名	構成比
1	台湾	17.51%
2	中国	15.42%
3	米国	11.44%
4	香港	7.26%
5	ドイツ	4.01%
6	フランス	3.94%
7	タイ	3.91%
8	カナダ	3.50%
9	韓国	2.77%
10	オーストラリア	2.69%
11	シンガポール	2.13%
12	フィリピン	1.94%
13	英国	1.67%
14	イタリア	1.64%
15	スイス	1.34%
16	マレーシア	1.28%
17	ベルギー	1.18%
18	ロシア連邦	1.01%
19	メキシコ	0.99%
20	インドネシア	0.98%
21	オランダ	0.85%
22	スペイン	0.73%
23	オーストリア	0.67%
24	チエコ	0.62%
25	ベトナム	0.58%

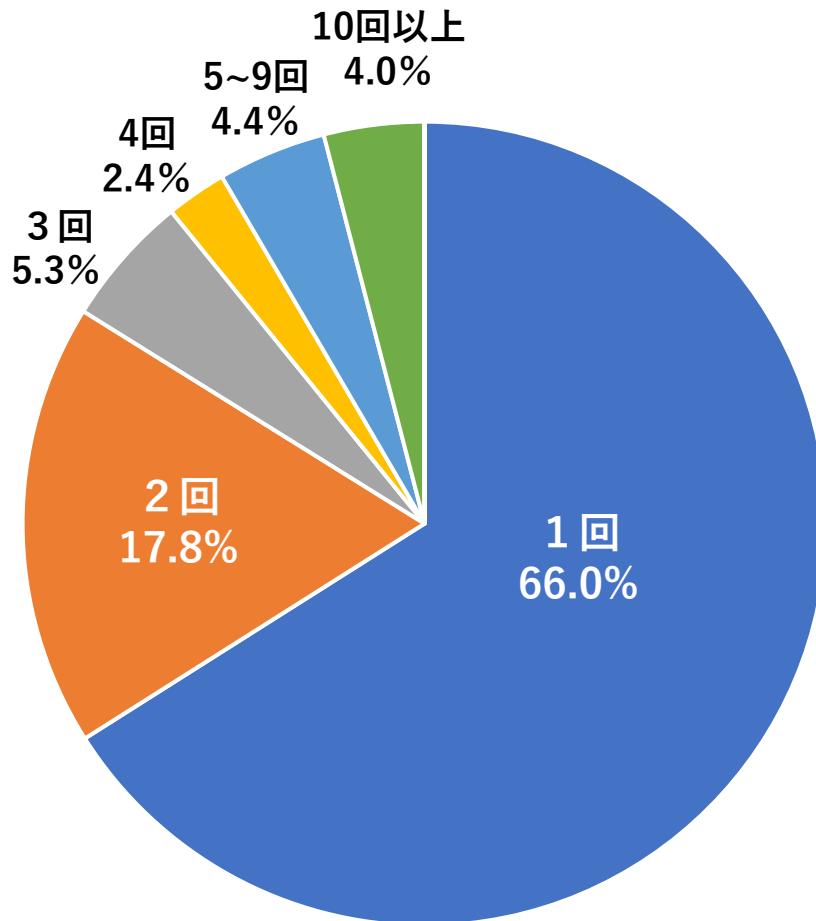
NO	国・地域名	構成比
26	ポーランド	0.55%
27	インド	0.53%
28	ポルトガル	0.52%
29	アラブ首長国連邦	0.52%
30	ブラジル	0.45%
31	イスラエル	0.39%
32	サウジアラビア	0.33%
33	マカオ	0.31%
34	ニュージーランド	0.29%
35	ルクセンブルク	0.25%
36	デンマーク	0.24%
37	スウェーデン	0.22%
38	スロバキア	0.22%
39	ルーマニア	0.19%
40	ハンガリー	0.18%
41	アイスランド	0.17%
42	ノルウェー	0.14%
43	アイルランド	0.14%
44	コロンビア	0.14%
45	フィンランド	0.12%
46	スロベニア	0.11%
47	リトアニア	0.10%
48	アルゼンチン	0.10%
49	クウェート	0.10%
50	チリ	0.10%

(参考) 万博IDに基づく来場者の性別

※万博IDでは性別を選択



(参考) 万博IDあたりの来場回数



万博IDあたりの
平均来場回数 2.3回
(最多来場回数 184回)

(参考)

- ・通期パスの平均来場回数 11.8回
- ・夏パスの平均来場回数 3.8回

2. 関係者入場証（AD証）の発行実績

➤ 会期前後を含む期間において、会場内に入退場が必要な関係者に対して入場証を発行。

AD証の種類	枚数
パーマネントパス発行枚数	143,372
デイパス発行枚数	381,534
サイトアクセスパス発行枚数	82,225
総合計	607,131

* 発行枚数には、再発行・未引換含む。

(参考)

- ・パーマネントパス：本博覧会関係者のうち、長期間入場する関係者に対して交付される関係者入場証
- ・デイパス：本博覧会関係者のうち、短期間限定で入場する関係者に対して交付される関係者入場証
- ・サイトアクセスパス：本博覧会関係者のうち、【会期前】【会期後】に入場する関係者（「パーマネントパス」保持者は除く）に対して交付される関係者入場証

【パーマネントパス】



【デイパス】

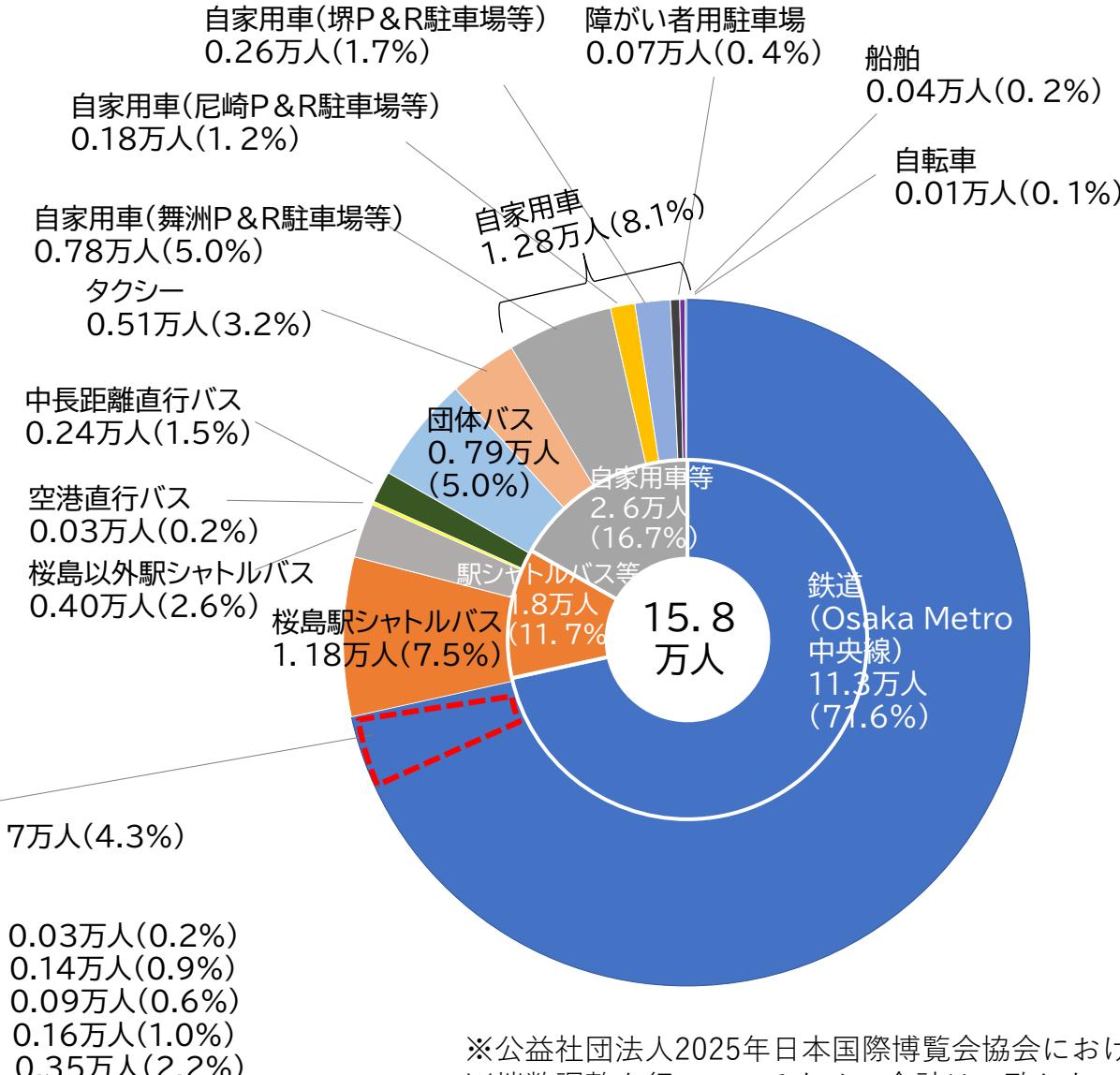


【サイトアクセスパス】



3. 来場者の交通手段の割合 (4/13~10/13の全体平均機関分担率)

➤ 最も多い交通手段としては、鉄道 (Osaka Metro 中央線) が全体の71.6%を占める。



会場運営に関するデータ

1－1. 賓客対応（海外賓客①：ND/SD）

- ▶ ナショナルデー（ND）を中心に、海外から**国王、皇太子その他の王族や大統領、首相等の国家元首級**を含む多くの要人が来訪。会場内外で様々なレベルでの「万博外交」を実施
- ✓ 期間中に会場を訪問した**国家元首・首脳級は79か国・2国際機関の計91名**
 - ✓ うちND/SDには**計69名の国王・皇太子、大統領等の国家元首・首脳級が出席**
 - ✓ ND/SD以外にも**19か国及び1国際機関から22名の国家元首・首脳級が来場**

＜国家元首・首脳級が参加したND/SD（67カ国・1国際機関 計69名）＞※サンマリノは2名の執政（国家元首）が参加

4月14日(月)	トルクメニスタン<大統領>	6月10日(火)	ギニア共和国<首相>	8月5日(火)	ウクライナ<副首相>
4月18日(金)	トンガ王国<皇太子>	6月11日(水)	コソボ共和国<大統領>	8月9日(土)	ペルー共和国<大統領>
4月21日(月)	ボリビア多民族国<副大統領>	6月12日(木)	フィンランド共和国<大統領>	8月18日(月)	タイ王国<副首相>
4月24日(木)	デンマーク王国<国王>	6月16日(月)	モザンビーク共和国<首相>	8月22日(金)	国際連合(UN)<事務総長>
4月28日(月)	パラオ共和国<大統領>	6月20日(金)	ドイツ連邦共和国<大統領>	8月25日(月)	セネガル共和国<大統領>
5月3日(土)	サンマリノ共和国<執政(国家元首)>	6月27日(金)	タジキスタン共和国<第一副首相>	8月28日(木)	東ティモール民主共和国<大統領>
5月7日(水)	ヨルダン<皇太子>	6月28日(土)	モナコ公国<モナコ公>	8月30日(土)	セントルシア<副首相>
5月10日(土)	ギニアビサウ共和国<大統領>	6月29日(日)	バチカン市国<國務長官(首相相当)>	8月31日(日)	モルドバ共和国<首相>
5月12日(月)	チリ共和国<大統領>	6月30日(月)	コンゴ民主共和国<首相>	9月3日(水)	オーストラリア連邦<総督>
5月14日(水)	スウェーデン王国<国王>	7月1日(火)	レソト王国<国王>	9月5日(金)	アルメニア共和国<首相>
5月18日(日)	ブルガリア共和国<大統領>	7月5日(土)	カンボジア王国<副首相>	9月6日(土)	パナマ共和国<大統領>
5月19日(月)	パラグアイ共和国<大統領>	7月10日(木)	アルジェリア民主人民共和国<首相>	9月9日(火)	ベトナム社会主義共和国<副首相>
5月20日(火)	ラトビア共和国<大統領>	7月11日(金)	中華人民共和国<國務院副總理>	9月10日(水)	スロバキア共和国<大統領>
5月21日(水)	オランダ王国<国王>	7月15日(火)	赤道ギニア共和国<副大統領>	9月14日(日)	ベルギー王国<副首相>
5月23日(金)	オーストリア共和国<大統領>	7月16日(水)	ジンバブエ共和国<大統領>	9月15日(月)	セルビア共和国<大統領>
5月24日(土)	ハンガリー<大統領>	7月21日(月)	パプアニューギニア独立国<首相>	9月18日(木)	バーレーン王国<皇太子兼首相>
5月25日(日)	タンザニア連合共和国<首相>	7月24日(木)	チェコ共和国<大統領>	9月19日(金)	アラブ首長国連邦<アブダビ首長国皇太子>
5月26日(月)	モンテネグロ<首相>	7月25日(金)	キューバ共和国<副首相>	9月21日(日)	クロアチア共和国<首相>
5月29日(木)	アイスランド<大統領>	7月26日(土)	ガボン共和国<副大統領>	9月25日(木)	フィジー共和国<副首相>
5月30日(金)	ルクセンブルク大公国<大公>	7月27日(日)	モンゴル国<副首相>	9月27日(土)	スリランカ民主社会主义共和国<大統領>
6月3日(火)	エスワティニ王国<首相>	7月31日(木)	ミクロネシア連邦<大統領>	10月8日(水)	ウガンダ共和国<首相>
6月6日(金)	キルギス共和国<内閣副議長>	8月2日(土)	マリ共和国<首相>	10月11日(土)	ハイチ共和国<暫定大統領評議会議長>
6月9日(月)	グアテマラ共和国<大統領>	8月3日(日)	ベリーズ<首相>		

1－2. 賓客対応（海外賓客②：ND/SD以外）

<ND/SD以外の機会に来訪した国家元首・首脳級（19か国及び1国際機関 計22名）>

国名・組織名	地域	氏名・姓名	役職
インドネシア共和国	アジア	プラボウォ・スピアント	大統領
シンガポール	アジア	ガン・キムヨン	副首相兼貿易産業大臣
フィリピン	アジア	フェルディナンド・マルコス	大統領
マレーシア	アジア	ファデイラ・ユソフ	副首相兼エネルギー移行・水変革大臣
ミクロネシア連邦	大洋州	アレン・B・パリク	副大統領
アイルランド	欧州	ミホル・マーティン	首相
イタリア共和国	欧州	マッテオ・サルヴィーニ	副首相兼インフラ・運輸大臣
オランダ王国	欧州	ディック・スホーフ	首相
スウェーデン王国	欧州	ヴィクトリア	皇太子
セルビア共和国	欧州	シニシャ・マーリ	第一副首相兼財務大臣
ポーランド共和国	欧州	クシシュトフ・ガフコフスキ	副首相兼デジタル化大臣
ポルトガル	欧州	レイス・モンテネグロ	首相
リトアニア共和国	欧州	ギターナス・ナウセーダ	大統領
ルクセンブルク大公国	欧州	リュック・フリーデン	首相
ルクセンブルク大公国	欧州	ギヨーム	皇太子
欧州連合（EU）	欧州	ヴァズラ・フォン・デア・ライエン	欧州委員会委員長
欧州連合（EU）	欧州	アントニオ・コスタ	欧州理事会議長
アラブ首長国連邦	中東	ムハンマド・ビン・ラーシド・アール・マクトゥーム	副大統領兼首相
クウェート国	中東	サバーハ・ハーリド	皇太子
ベナン	アフリカ	マリアム・チャビ・タラタ	副大統領
ジンバブエ共和国	アフリカ	ケンボ・キャンベル・ドゥギシ・モハディ	副大統領
コロンビア共和国	中南米	グスタボ・フランシスコ・ペトロ・ウレゴ	大統領

1－3. 賓客対応（国内賓客）

- 天皇・皇后両陛下、秋篠宮皇嗣・同妃殿下がお揃いになった開会式をはじめとして、会期前から会期中を通じて、皇族方 11方が24回にわたり、会場を御訪問された。
- 内閣総理大臣、大臣、副大臣、政務官、国会議員、地方自治体首長をはじめ国内の要人も、多数、会場に来訪された。

<皇族方の行幸啓、お成り>

天皇皇后両陛下	4月11～12日 開会式 10月6日
秋篠宮皇嗣殿下 (名誉総裁)	3月12日 4月11～12日 開会式 7月3日 ジャパンデー ^{（以上、秋篠宮皇嗣同妃両殿下）} 10月13日 閉会式 9月25日 (秋篠宮皇嗣殿下、悠仁親王殿下)

愛子内親王殿下、秋篠宮皇嗣妃殿下、佳子内親王殿下、
悠仁親王殿下、寛仁親王妃殿下、彬子女王殿下、高円
宮妃殿下、承子女王殿下

<会期中に協会儀典が接遇を行った国内賓客>

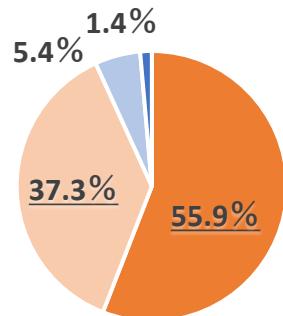
カテゴリー	(延べ人数)
皇族	39名
三権の長	7名
三権の長の経験者	5名
衆・参議院副議長	2名
大臣・副大臣・政務官	106名
国会議員	303名
都道府県・政令指定都市の首長及び議会議長	129名
主要な経済団体の長	17名
その他(各界の分野で顕著な功績があった人物等)	64名
合 計	672名

2. 会場ボランティア活動

- ボランティアの活動人数：10,851人（延べ70,304人）。1人あたり、約6.5日活動。
- 活動内容は、①会場内における案内・歓迎活動、②会場内施設の運営補助活動（アクセシビリティセンター、迷子/ベビーセンター、医療救護施設、リユース食器回収拠点）
- 閉幕前後に実施したアンケートの結果では、ボランティア活動全体について、9割以上の方が満足。

◆ 活動満足度について

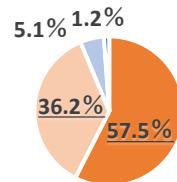
ボランティア活動全体の満足度



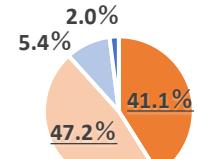
満足できた主な理由

- お客さまの笑顔とありがとうの言葉がとても嬉しかった。
- ここでしか出来ない、貴重な体験が出来た。
- ボランティアの方々と情報交換や一緒に活動できたことが楽しい思い出となつた。
- 歓迎グッズの充実など参加する度に活動内容が改善されていて、よく考えてくれていると感じた。
- 万博スタッフ、運営側の工夫を伺えてよかったですと思う。

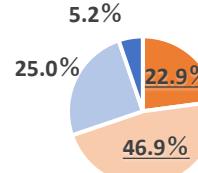
来場者との交流



ボランティア同士の交流



外国の方との交流



(凡例)

■ 非常に満足

■ やや満足

■ あまり満足していない

■ 満足していない

満足できなかつた主な理由

- 来場者の動向によって活動が無い時間帯もあつた。
- 暑さ対策のためだと思うが、休憩時間が多く、もう少し活動時間を長くして欲しかつた。

3. 忘れ物、迷子・迷い人対策

忘れ物対策

- 会期中の忘れ物の総数は、約14.3万件。
- 忘れ物のカテゴリーの上位は、ハンカチ・タオル、帽子、傘類、カード類等。
- 会場外からの問い合わせが想定以上に多く、一時はIP電話の回線がパンクし、外部からの問合せ手段がない状態となつたが、7月下旬以降、公式HPへ専用の問い合わせフォームを設立するなどの対策を取ることで、より多くの返還につなげた。



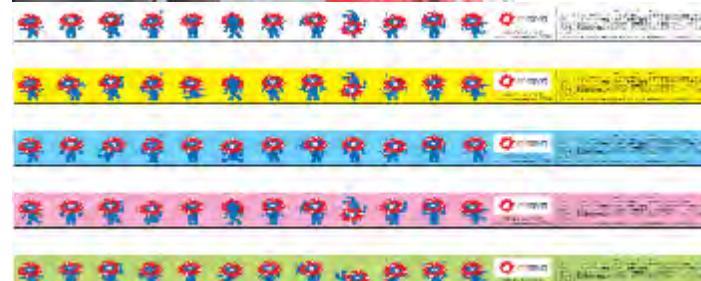
忘れ物センターの様子

迷子・迷い人対策

- 迷子・迷い人の総数は、迷子搜索：1,841件、迷子保護：1,003件。
- 迷子リストバンドの配布数は、約25万枚。登録実績は約7万6千700件。約3.26人に一人が登録
- 色とりどりのリストバンドは、選ぶ楽しみもあり、子供たちにも好評だった。
- リストバンドによる即時解決は、上記の迷子保護数以外に一日5件程度。



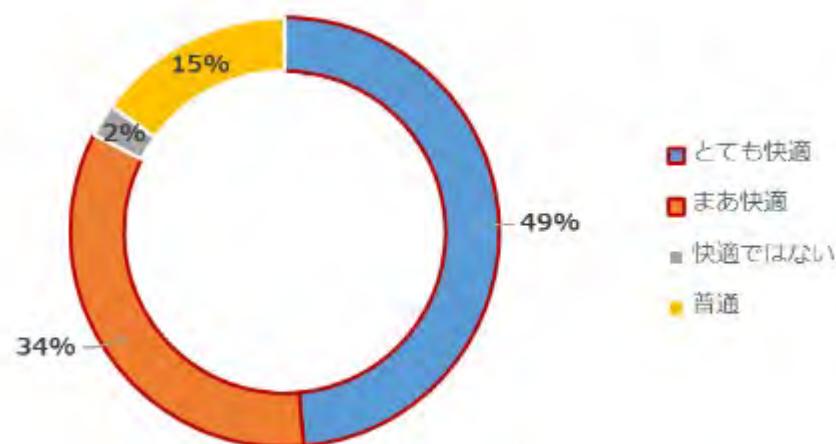
※迷子リストバンドとは、保護者がスマートフォンで裏面のQRコードを読み取り、連絡先を事前登録することで、迷子発生時に迅速な対応を行うことができる仕組み。



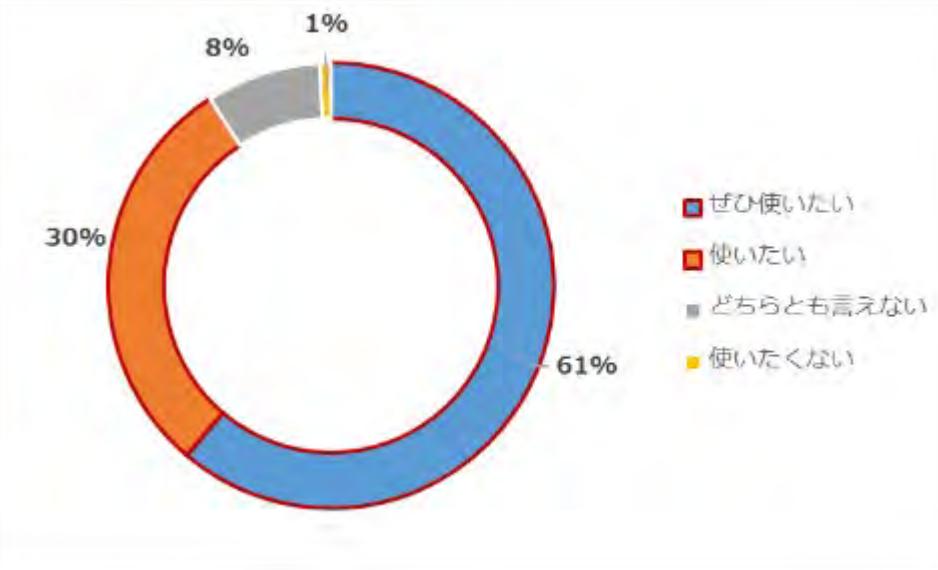
4. 全面的キャッシュレス決済実施による効果等

- 大阪・関西万博では、会場内において、現金を扱わない全面的キャッシュレス決済を採用した。
- EXPO2025デジタルウォレット利用者を対象としたアンケートによると、万博会場でのキャッシュレス決済は、来場者に非常に高い満足度をもたらしたことが示された。
- 来場者のキャッシュレス決済に対しては、「会場での体験が快適になった」が8割超と高い評価を得た。さらに、「今後、日常生活でもキャッシュレス決済を利用したい」が9割を超えるなど、万博をきっかけに日常利用へと行動が変化する可能性が示された。

Q. キャッシュレス決済によって
会場での体験は快適になったか。



Q. 今後普段の生活でも
キャッシュレス決済を活用したいか。



調査方法：EXPO2025デジタルウォレットアプリでのオンラインアンケート
アンケート期間：10/1～10/13
有効回答数：10,633人

5 – 1. 会期中の安全確保状況

- 危機管理センターを中心に、各機関と連携して会場内の安全を確保。公式参加者とは、隔週開催のセキュリティブリーフィングにおいて情報交換を実施。

1 警備

- ・協会警備隊（1日約2,000人）が、東西ゲート、会場内、各イベント、会場周囲、協会施設を警戒し、雑踏の整理、傷病者の搬送等に従事。
- ・事故・トラブル等は593件。傷病者搬送は約12,000件、国内外要人364人の周辺を警戒。

2 防災

- ・気象状況を常時監視し、雷雲の接近や強風に伴う来場者のリング上からの避難措置等を実施（雷雲19回、強風8回）。
- ・大規模災害に備え、会場内に90万食の食料・水等を備蓄。8月13日の大阪メトロ運行支障に伴い飲料水を配布。

3 医療救護

- ・会場内8か所の医療救護施設において24,366人（1日平均132人）の傷病者に対応（場外搬送673名）。AEDによる蘇生は4名。
- ・救護隊、軽EV救急車により迅速な対応を実現。
- ・熱中症様の症状を訴える人の増加に伴い、休憩所を追加設定。熱中症疑いと医師の診断を受けた方は732名、うち場外に搬送された方は88名。

5 – 2. 会期中の安全確保状況

4 会場衛生

- 会場内サーベイランス（関係従事者の健康管理情報、診療概況サーベイランス）を実施、麻しん患者（1名）発生時に接触者の健康観察を実施し新たな感染者の発生なし。

5 会場内他機関の活動状況

会場警察隊 (大阪府警察)	会場内の警戒や周辺交通対策に従事し、刑法犯 <u>147件</u> 、特別法犯 <u>30件</u> を認知。交通事故は <u>368件</u> 。会期中に <u>262件の警衛・警護</u> を実施。
万博消防センター (大阪市消防局)	<u>火災3件、救助6件、救急搬送747人</u> 、自火報発報や異臭事案に対応したほか、各施設に対する防火指導も実施。
海上保安庁	巡視船艇が周辺海域を警戒し、会場に接近する船舶に対して <u>319件</u> の注意喚起等を実施。
会場衛生監視センター (大阪市保健所)	飲食店や各施設の立入検査を実施（食中毒発生なし）。レジオネラ属菌の指針値超過事例は <u>1件</u> 。

(参考) 来場者向けの暑熱対策

➤ 热中症リスクの軽減を図り、来場者の皆様に安心して万博を楽しんでいただけるよう、会場全体で暑熱対策を実施。

1. 日陰の創出・送風設備・給水設備の充実

●会場内ハード対策

- ・リング下の活用（多数のベンチの設置、暑熱グッズ・飲料等の販売）
- ・園路等へのパラソル（**300台超**）ほか日除けの設置
- ・園路等へのミストファンの設置（**約30台**）、休憩所などへのミスト設備・スポットエアコンの設置
- ・EVバス休憩所の設置（**2台**）



●東エントランス広場

- ・スポットエアコンによる送風（**約40台**）
- ・日傘の貸し出し（**約3,000本**）
- ・東エントランス広場東棟に空調完備の一時休憩所を設置



●第二交通ターミナル～西エントランス広場

- ・歩行者動線上におけるミストファンの設置（**18台**）
- ・エントランス広場におけるスポットエアコンによる送風（**約20台**）

●給水設備

- ・自動販売機：**248台**
- ・その他の給水設備（マイボトル給水機等）：**計86台**（※令和7年8月末時点）

※協会HPにて、マップ形式で設置状況を掲載。

2. 来場者サービスの充実

●情報発信

【来場前】熱中症予防に関するHP上での情報発信、来場者向けメール配信による注意喚起を実施。

【会場内】暑さの段階に応じた放送をゲート前（**開場前10分、開場後8分間隔**）、会場内（**毎時1回**）にて実施。

●熱中症警戒アラートの情報提供

熱中症警戒アラートが発表された日については、①会場内放送、②会場ボランティアによる呼びかけ、
③Visitorsでの発信により情報提供を強化。

3. 医療・救護体制の整備

会場内**8ヶ所の医療救護施設で対応できる体制**を構築。うち3か所は医師を配置し、脱水症状等を認める患者に対して点滴等を行える体制で運営。



※上記のほかに各パビリオン等の個別の施設においても暑熱対策を実施

6 – 1. 万博会場内の廃棄物排出量とその抑制の取組

- 一人当たりの廃棄物排出量は、会期前の想定値より低く抑えることができた。 理由としては、マイボトルの利用促進や使い捨てプラスチック食器の利用を削減を目的としたリユース食器の導入などの取組の実施があげられる。

	排出量 (t)	原単位 (g/人)	来場者数 (人)
会期前想定	8266.5	293.13	28,200,000
実績	4601.3	158.57	29,017,924
差異	-3665.2	-134.56	+817,924

«期間»4月13日～10月20日

- ・実績はサブストックヤードに持ち込まれた重量で、参加者が外部へ委託処理した廃棄物は含まない。
- ・会期前想定の排出量は、来場者数2,820万人で算出。
- ・実際の来場者数は2,820万人とは異なるため、排出量を来場者数で除算し一人あたりの排出量（原単位）で比較。

排出量抑制の取組 (マイボトルの利用促進)

- 博覧会協会は、来場者へマイボトルの持ち込みを推奨するとともに、会場内に給水スポットやマイボトル洗浄機を設けるなど、来場者がマイボトルを使用できる環境を整備。

⇒ペットボトルの利用量を削減



給水機



マイボトル洗浄機



ウォーターサーバー

6 – 2. 温室効果ガス(GHG)排出量とその抑制の取組

- 万博事業から直接もしくは間接的に排出される温室効果ガスは、予測値より低く抑えることができた。理由としては、各施設での高効率な空調機器の採用や会場に供給される電気を非化石電源由来にするなどの取組があげられる。

算定項目	GHG排出量(t-CO2e)	
	BAU * ¹	実績値 * ²
<u>Scope 1</u> 会場内の施設で使用された熱源機器での都市ガス等の燃料や、会場内の車両で使用されたガソリン等の燃料の燃焼など、万博事業から直接排出される温室効果ガス	<u>5,213</u>	<u>3,389</u>
<u>Scope 2</u> 会場内で使用された電気などが製造される際に発生する、万博事業から間接的に排出される温室効果ガス	<u>33,919</u>	<u>1,232</u>

*1 省エネや再エネ導入等の特別な対策を実施しないケースでの予測値

*2 2025年11月26日時点での集計値

排出量抑制の取組

○Scope 1排出量

各施設での高効率な空調機器の採用や、会場内の熱供給機器の運用の適正化等の取組により、排出量を抑制した。

○Scope 2排出量

会場に供給される電気を非化石電源由来のものとするなどの取組により、大幅に排出量を抑制した。

※残余排出量については、カーボンクレジット等を調達しこれをオフセットする。

現時点での調達量は約3千トン。残る分についてもクレジット等を調達する予定。

6 – 3. 清掃スタッフ、廃棄物管理スタッフの活動

➤ 大阪・関西万博では、延べ7万人を超える

- ・主に、来場者に対するごみ種類ごとの分別誘導案内、床拭き、トイレ清掃等を行う清掃スタッフ
- ・主に、会場内のストックヤードへの廃棄物の運搬等を行う廃棄物管理スタッフが活動した。

会期中の延べ活動人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
清掃スタッフ数	4,502	7,733	7,775	7,845	8,138	8,389	3,802	<u>48,184</u>
廃棄物管理スタッフ数	2,400	4,157	4,081	4,229	4,187	4,158	1,531	<u>24,743</u>



7. オールインクルーシブな取組

- 大阪・関西万博を開催するにあたり、ユニバーサルデザイン検討会（全3回）、交通アクセスユニバーサルデザイン検討会（全5回）及びユニバーサルサービス検討会（全12回）を開催。すべての人が安全・快適に過ごすことができるよう、障がい当事者や学識経験者等の意見を踏まえて検討を深め、ガイドラインの策定等を行った。
- 会期中には実際にNaviLensコードの設置などを実施し、オールインクルーシブな万博を実現した。その結果、大阪・関西万博では、多くの障がい者の方にも来場いただくことができた。（特別割引入場券の販売枚数約63.3万枚）

NaviLensコード等の設置

- NaviLensコード（視覚障がい者、多言語向けの移動を支援するアプリのQRコード）を会場内のトイレ等のパブリックスペースに計188コード設置。日本館や大阪ヘルスケアパビリオンでも設置が採用されていた。
- shikAIコード（視覚障がいがある方向けに音声で目的地まで案内してくれるQRコード）を会場内の点字ロック上等のパブリックスペースに計1,181枚設置。（貼り付け箇所：380箇所）



NaviLensコード

shikAIコード

バリアフリーマップ等の配布

- 移動が困難な方向けに、バリアフリーマップを配布。（日本語版7,403部、英語567部）
- 感覚過敏の方向けに、センサリーマップを配布。（日本語版2,269部、英語版367部）
- 視覚による情報が得にくい方向けに、触知図を設置。（利用回数123回）

車いす、ベビーカーの貸し出し

- 会場内では、車いすやベビーカーの貸し出しを行った。
- ベビーカーの貸し出し数は会期を通じて約9.1万回
- 車いすの貸し出し数は、1日最大656台。会期を通じて利用回数8.4万回。

イベント等に関するデータ

1. 会期中イベントの実施実績（4月13日から10月13日まで）

➤ 連日、会場内の催事施設などで様々な主体によるイベントが実施され、盛況のうちに閉幕を迎えた。

催事施設など	回数	集客数	主なイベント（回数）
EXPOホール	199回	364,145人	ナショナルデー（3回）、BIEデー、ジャパンデー、Physical Twin Symphony(22回)、日本国内の地域イベント、よしもと新喜劇（5回）、各国の音楽イベントやビジネスイベント
ナショナルデーホール	276回	162,691人	ナショナルデー・スペシャルデー(160回)
EXPOアリーナ	165回	989,024人	大阪ウィーク（春・夏・秋）、Ado OPENING SPECIAL LIVE、U-NEXT MUSIC FES（6回）、LDH DAY SPECIAL “Jr. EXILE LIVE”
EXPOメッセ	270回	2,276,505人	未来づくりロボットWeek、Beyond 5G ready ショーケース、Japan Expo Paris in Osaka 2025、大相撲 大阪・関西万博場所
ギャラリーWEST	142回	346,246人	ふとももEXPO(22日間)、絵師100人展(7日間)
ギャラリーEAST	154回	444,779人	生け花の根源 池坊展(8日間)、人形浄瑠璃文楽ミニ公演(5日間)
ポップアップステージ（5か所）	986回	268,935人	USJ「ハロウィーン・ホラー・ナイト」出張イベント、各国の音楽イベント、伝統芸能
フェスティバル・ステーション	356回	305,157人	関西 12 局ラジオ合同特番「KANSAI EXPO RADIO」、各国の音楽イベント、体験イベント、観光ブース
ウォータープラザ（昼間）	996回	1,065,620人 *	水と空気のシンフォニー(875回)、水と空気のマジカルダンス（121回）
アオと夜の虹のパレード	285回	1,515,700人 *	1日2回
EXPOプロジェクションマッピング	365回	86,500人	1日2回
One World、One Planet.	184回	—	ドローン有(127回)、ドローン無(57回)
花火	67回	—	
パレード	55回	—	公式参加者パレード、フラッグパレード（閉幕日）
万博サウナ	954回	13,356人	太陽のつぼみ（1日6回）
その他	19回		1万人の第九、大屋根リング盆踊り、プラスエキスポ2025

* ウォータープラザ護岸の予約観覧エリア・自由観覧エリアと護岸周辺を集計

(参考) イベントの様子 (1)

■ナショナルデー・スペシャルデー (BIEデー・ジャパンデー含む)

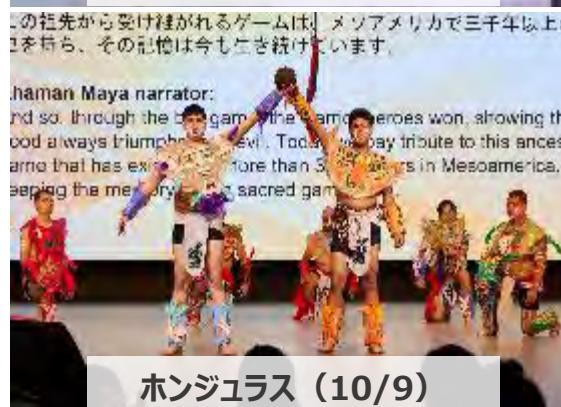
- ・日替わりで公式参加者等が自國文化に対する理解を深められるような伝統的な音楽や踊り等を披露。
- ・会期中**165回**開催され、多くの来場者で賑わった。



ポーランド (10/1)



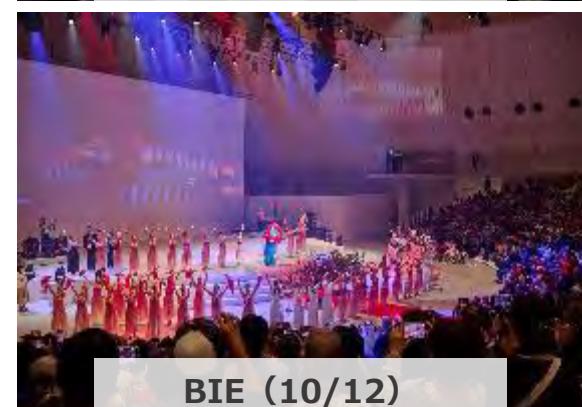
マダガスカル (10/7)



ホンジュラス (10/9)



ウガンダ (10/8)



BIE (10/12)

■閉会式

- ・「For the Futures」をテーマに、最終日に実施。
- ・秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご臨席のもと、石破総理、国会議員、自治体、経済界関係者、公式参加国など**約1,200人**が出席。



(参考) イベントの様子 (2)

■閉幕日イベント

- ・西ゲート広場を出発し、ポップアップステージ西、大屋根リング下を時計回りで巡る形で、フラッグパレードを実施。
- ・「One World, One Planet.」もドローンショーで、ミヤクミヤクが浮かび上がる特別な演出で実施し、多くの来場者で賑わった。
(来場者数24万4,094人、うちAD証36,205人)



フラッグパレード

2. テーマウィークプログラム

- テーマウィークでは、SDGsなどで掲げられている人類共通の課題を大阪・関西万博のテーマ及びサブテーマを用いて8つのテーマを設定。
- 各テーマごとに「問い合わせ」を立て、テーマウィークで行う全てのプログラムを通じて目指すべき方向性を描き出すことを目標として実施した。
 - ・テーマウィークプログラム総数：429プログラム
※上記のうち、協会主体のアジェンダ2025プログラム数：101、公式参加者によるプログラム数：189、会場外で関連プログラムとして実施されたテーマウィークコネクトプログラム数：35
 - ・登壇者数 2,653人、参加者数 約700万人（うちリアル参加 約160万人）

8つのテーマ概要と、それぞれの「問い合わせ」



未来への文化共創 ウィーク

多様な文化が共鳴し、
未来への文化が共創されるため
に、私たちは何をすべきか？



未来のコミュニティと モビリティ ウィーク

誰もがその人らしく生きられるコ
ミュニティとは？



食と暮らしの未来 ウィーク

全ての人々が食と暮らしに困る
ことがない未来はどのようにす
れば実現できるのか？



健康とウェルビーイング ウィーク

一人ひとりのウェルビーイング
が共鳴する社会をどう実現す
るか？



学びと遊び ウィーク

AI時代において人は何を学べば
良いのか？



平和と人権 ウィーク

あらゆる差別をなくし、互いを
尊重し合う社会を実現するため
に、世界は何をすべきか？



地球の未来と生物多様性 ウィーク

豊かで多様な生き物が住む地球
を未来に残すために、私たちは
何をすべきか？



SDGs+Beyond いのち 輝く未来社会 ウィーク

SDGsは達成できるか？そして、
その先はどうする？

(参考) 「平和と人権ウィーク」プログラム例

○2025年8月12日(火)

(登壇者) 中満 泉(モデレーター) : 国連事務次長・軍縮担当上級代表
金本 弘: 日本被団協代表理事、愛知県原水爆被災者の会理事長
近藤紘子: What Divides Us/エグゼクティブ プロデューサー
西前 拓: 1 FUTURE 共同代表
シンシア・ヴェリコ: 国連人権高等弁務官事務所東南アジア事務所地域代表
イワルド・エルマン: エルマンピースセンター
ユリス・リチャード: 国連軍縮局(UNODA) コンサルタント

【概要】

本セッション「人権の尊重・保障」では、戦争・差別・技術の脅威など現代社会が直面する課題に対し、人間の尊厳を守るための道が議論された。全体を通じて「平和は制度ではなく尊厳と人権の保障に根ざすべき」との認識を共有。被爆者金本氏は自身と姉との体験を通じ、核兵器を「絶対悪」と断言し、記憶の継承と行動を訴えた。中満泉氏は「平和・人間の安全保障・尊厳」の三柱を提示し、新技術の軍事利用に倫理的枠組みが必要と強調。近藤紘子氏は被爆体験から和解と共生の重要性を語り、芸術による記憶継承を紹介。西前拓氏は映像による証言記録の意義を述べ、「忘却は暴力の再生産」と警告した。ヴェリコ氏とエルマン氏は信頼の再構築と若者・女性の役割を強調。リチャード氏はAI兵器など新技術の人権リスクを指摘し、国際的規制を提唱。議論の結論は「記憶・信頼・対話」が人権と平和の基盤であり、市民一人ひとりの行動が未来を形づくるという点で一致した。



3. 「TEAM EXPO 2025」 プログラム、ベストプラクティス

- 「TEAM EXPO 2025」 プログラムは、会期前から多様な人たちがチームを組み、共創チャレンジを行い、多彩な活動で大阪・関西万博とその先の未来に挑む、みんながつくる参加型プログラム。
 - 共創チャレンジ総登録数：2,492件（国内 2,397件、海外 95件）
 - 共創パートナー総登録数：439件（国内 437件、海外 2件）
- 大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現するプロジェクトとして、ベストプラクティスを25件選んだ。
- 会期中は「フューチャーライフヴィレッジ」パビリオンにて展示発表を行った。
- BIE（国際博覧会事務局／本部：フランス）から「TEAM EXPO 2025」 プログラムやベストプラクティスといった市民社会参加活動の功績として、『シルバーメダル』を受賞。

「TEAM EXPO 2025」 プログラム 会場参加



ベストプラクティス 会場展示



4. バーチャル万博開催実績

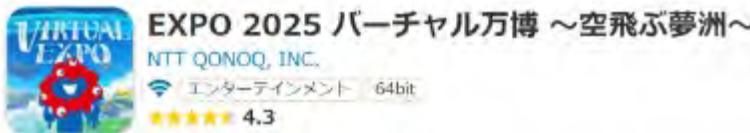
➤ インクルーシブな万博を実現する屋台骨としての役割を果たし、総アクセス数 3,183万回を達成。

バーチャル万博事業※1 総アクセス数

3,183万回

バーチャル万博アプリ 延べ来場者数※2

461万人



大阪・関西万博バーチャル会場では、338の出展者が集うメタバース空間を開設し、世界194カ国・地域から合計3,183万アクセス、延べ461万人の来場を達成し、名実と共に世界最大級のメタバースイベントとなりました。

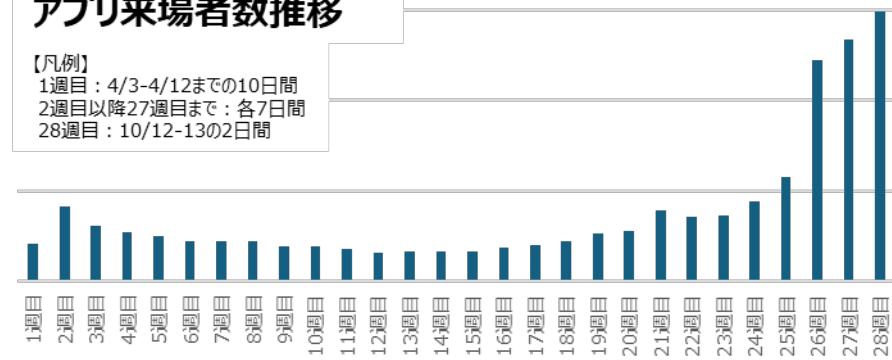
※1：バーチャル万博事業として協会が行ったオンラインプログラムを指し、バーチャル万博アプリ、バーチャル万博公式HPやSNS投稿へのアクセスです。

※2：リアル会場で実施したイベントの延べ来場者数381,564人を除きます。

※3：APPLION (<https://applion.jp/>) (10月17時点確認) データより

アプリ来場者数推移

【凡例】
1週目：4/3-4/12までの10日間
2週目以降27週目まで：各7日間
28週目：10/12-1302日間



バーチャル万博アプリ評価：累計ダウンロード数115万DL超

カテゴリ	配信ストア	アプリ評価	月間ダウンロードランキング（日本）※3		ユーザー比率
			カテゴリ別	無料アプリ全体	
SP	App Store (iPhone)	高評価 4.3/5.0	エンターテイメント 2位	7位	92%
	App Store (iPad)	高評価 4.3/5.0	エンターテイメント 2位	5位	
	Play Store (Android)	高評価 4.2/5.0	イベント 1位	15位	
PC	PC/PCVR	－ (バーチャル万博公式HPにてアプリ配信のためデータ無し)			7%
VR	Meta Store	2.1/5.0	－	－	1%

(参考) バーチャル万博出展者一覧

➤ バーチャル万博へパビリオン/ルーム/コンテンツ掲載を行ったバーチャル万博出展者は総勢338者。

バーチャル万博出展者 総勢 338 者

公式参加者 (166)

アイスランド、アイルランド、アゼルバイジャン共和国、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、アルジェリア民主人民共和国、アルメニア共和国、アンゴラ共和国、アンティグア・バーブーダ、イエン共和国、イスラエル国、イタリア共和国、インド共和国、インドネシア共和国、ウガンダ共和国、ウクライナ、ウズベキスタン共和国、ウルグアイ東方共和国、英國（グレートブリテン及び北爱尔兰連合王国）、エジプト・アラブ共和国、エスワティニ王国、エチオピア連邦民主共和国、オーストラリア連邦、オーストリア共和国、オマーン国、オランダ王国、カーボベルデ共和国、ガーナ共和国、ガイアナ協同共和国、カザフスタン共和国、カタール国、カナダ、ガボン共和国、カメルーン共和国、ガンビア共和国、カンボジア王国、北マケドニア共和国、ギニア共和国、ギニアビサウ共和国、キューバ共和国、キルギス共和国、グアテマラ共和国、クウェート国、グレナダ、クロアチア共和国、ケニア共和国、コートジボワール共和国、コソボ共和国、コモロ連合、コロンビア共和国、コンゴ民主共和国、サウジアラビア王国、サモア独立国、サントメ・プリンシペ民主共和国、サンビア共和国、サンマリノ共和国、シェラオレオネ共和国、ジブチ共和国、ジャマイカ、シンガポール共和国、ジンバブエ共和国、スイス連邦、スウェーデン王国、スーダン共和国、スペイン王国、スリナム共和国、スリランカ民主社会主义共和国、スロバキア共和国、スロベニア共和国、セーシェル共和国、赤道ギニア共和国、セネガル共和国、セルビア共和国、セントクリストファー・ネービス、セントビンセント及びグレナディーン諸島、セントルシア、ソマリア連邦共和国、ソロモン諸島、タイ王国、大韓民国、タジキスタン共和国、タンザニア連合共和国、チェコ共和国、チャド共和国、中央アフリカ共和国、中華人民共和国、チュニジア共和国、チリ共和国、ツバル、デンマーク王国、ドイツ連邦共和国、トーゴ共和国、ドミニカ共和国、トリニダード・トバゴ共和国、トルクメニスタン、トルコ共和国、トンガ王国、ナイジェリア連邦共和国、ナウル共和国、ネパール、ノルウェー王国、バーレーン王国、ハイチ共和国、バキスタン・イスラム共和国、バチカン市国、バナマ共和国、バヌアツ共和国、バブアニューギニア独立国、バラオ共和国、バラグアイ共和国、バルバドス、バレスチナ、ハンガリー、バングラデシュ人民共和国、東ティモール民主共和国、フィジー共和国、フィリピン共和国、フィンランド共和国、ブータン王国、ブラジル連邦共和国、フランス共和国、ブルガリア共和国、ブルキナファソ、ブルネイ・ダルサラーム国、ブルンジ共和国、ベトナム社会主義共和国、ベナン共和国、ベリーズ、ペルー共和国、ペルギー王国、ボーランド共和国、ボリビア多民族国、ボルトガル共和国、ホンジュラス共和国、マーシャル諸島共和国、マダガスカル共和国、マラウイ共和国、マリ共和国、マルタ共和国、マレーシア、ミクロネシア連邦、南スーダン共和国、モーリシャス共和国、モーリタニア・イスラム共和国、モザンビーク共和国、モナコ公国、モルドバ共和国、モンゴル国、モンテネグロ、ヨルダン、ラオス人民民主共和国、ラトビア共和国、リトアニア共和国、リベリア共和国、ルーマニア、ルクセンブルク大公国、ルワンダ共和国、レソト王国、イーター国際核融合エネルギー機構、国際科学技術センター、太陽に関する国際的な同盟、東南アジア諸国連合、万博博物館^{*1}、欧州連合、国際赤十字・赤新月社連盟、国際連合

シグネチャー・パビリオン・民間パビリオン・団体パビリオン (25)

河森館、河瀬館、宮田館、小山館、石黒館、中島館、福岡館、落合館、パナソニック ホールディングス株式会社、一般社団法人大阪外食産業協会、一般社団法人日本ガス協会、株式会社パナグループ、株式会社バンダイナムコホールディングス、吉本興業ホールディングス株式会社、玉山デジタルテック株式会社、三菱大阪・関西万博総合委員会、住友 EXPO2025 推進委員会、電気事業連合会、特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン、NTT株式会社、飯田グループホールディングス株式会社、関西広域連合館、大阪府・大阪市館、日本館、ウーマンズパビリオン

*1:国際機関としてカウント *2: 公益財団法人JKAは3事業で出展 *3 : フューチャーライフヴィレッジは3事業で出展

*4 : 協賛ボード参加者は、プロンズスポンサー以上で歓迎の島内に協賛ボードのみを設置した参加者を指す *5 : NTT株式会社は2事業でカウント

協会事業出展者・協賛出展者 (33)

マスターライセンスオフィス、フューチャーライフヴィレッジ（フューチャーライフエクスペリエンス/TEAM EXPOパビリオン）/ベストプラクティス^{*3}、テーマワーカースタジオ、未来の都市、OneWorld,OnePlanet、静けさの森インスラーション、SDGsキャンプ、デジタルウォレットハウス、ジャパンマテリアル株式会社、大日本印刷株式会社、TOPPANホールディングス株式会社、株式会社村田製作所、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、阪急阪神ホールディングス株式会社、読売新聞社、株式会社NTTドコモ、サントリーホールディングス株式会社、ダイキン工業株式会社、アサヒグループジャパン株式会社、NTTアーバンリューションズ株式会社、オリックス株式会社、川崎重工業株式会社、株式会社神戸製鋼所、公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE)、日本特殊陶業株式会社、公益財団法人JKA^{*2}、日本電気株式会社、株式会社りそな銀行、株式会社大阪メトロアドエフ

協賛ボード参画者 (107) ※4

株式会社 長谷工コーポレーション、大和ハウス工業株式会社、株式会社大林組、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社、株式会社ダイセル、NTT株式会社^{*5}、江崎グリコ株式会社、大塚製薬株式会社、くら寿司株式会社、コクヨ株式会社、塩野義製薬株式会社、シスマックス株式会社、株式会社資生堂、一般社団法人 全国介護事業者連盟万博ソーシアム2025、株式会社竹中工務店、株式会社デンソー、株式会社ニチレイフーズ、株式会社FOOD & LIFE COMPANIES、イビデン株式会社、オリバス株式会社、京セラ株式会社、株式会社サステナブルパビリオン2025、株式会社ジェイテクト、セコム株式会社、大同生命保険株式会社、T S U B A S A アライアンス株式会社、DMG森精機株式会社、東武トップアーツ株式会社、東和薬品株式会社、TOPPANホールディングス株式会社、奈良商工會議所、ニチコン株式会社、ひかりのくに株式会社、フクシマガリレイ株式会社、株式会社フジキン、株式会社堀場製作所、ミズノ株式会社、株式会社みずほ銀行、ウシオ電機株式会社、株式会社クボタ、KDDI株式会社、株式会社 日立製作所、丸紅株式会社 & Vertical Aerospace Group Ltd.、株式会社Soracle、ANAホールディングス株式会社 & Joby Aviation Inc.、岩谷産業株式会社、大阪市高速電気軌道株式会社、鹿島建設株式会社、シスコシステムズ合同会社、株式会社SkyDrive、ダイハツ工業株式会社、TOPPANホールディングス株式会社、株式会社ダイヘン、株式会社 I H I 、カナディア株式会社、株式会社商船三井、積水化学工業株式会社、ヤマハ株式会社、公益財団法人黒田緑化事業団、青木あすなろ建設株式会社、株式会社 小松製作所、長田広告株式会社、関西電力送配電株式会社、株式会社さんでん、CPコンクリートコンソーシアム、前田道路株式会社、株式会社三井住友銀行、SBIホールディングス株式会社、株式会社 EVERING、株式会社大阪マルビル、大和ハウス工業株式会社、株式会社エイチ・アイ・エス、関西エアポート株式会社、長田広告株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、大阪ガス株式会社、ケイムー株式会社、SANEI株式会社、TOTO株式会社、株式会社 香島製作所、アルイコ株式会社、エースジャパン株式会社、株式会社JTBC、セコム株式会社、株式会社ゼリン、総合警備保障株式会社、TOA株式会社、株式会社HashPort、株式会社V&A Japan、メトロウエー株式会社、株式会社モリタホールディングス、日本気象株式会社、イオンモール株式会社、株式会社キャリアリンク、京阪ホールディングス株式会社、株式会社W TOKYO、株式会社ヒット、株式会社モリサワ、アズビル株式会社、出光興産株式会社、小野薬品工業株式会社、コスモエネルギー・ホールディングス株式会社、電源開発株式会社、富士電機株式会社、ボストンコンサルティンググループ、三菱ロジスネクスト株式会社

催事参加 (7)

お菓子で世界にスマイルプロジェクト、常葉大学造形学部村井貴デザイン研究室、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局SIP/BRIDGE総括、NTT株式会社、一般社団法人日本福祉医療ファッション協会、阪神高速道路株式会社、宮崎県総合政策部

5. 万博への推奨度・再来場意向・満足度

- 来場者へのアンケート（開幕から閉幕まで）によると、平均7割を超える来場者から、「家族や友人等に勧めたい」、「再来場したい」、「満足した」、という結果を得ている。

【EXPO 2025大阪・関西万博】を家族・友人・知人
またはSNSで勧めたい

【EXPO 2025大阪・関西万博】にまた来場したい

【EXPO 2025大阪・関西万博】に総合的に満足した



⇒ 最終日(10/13)の総合満足度は、92.8%に！

アンケート期間：4/13～10/13
n数：1,190,801人

(参考) 感動・喜び・満足などのお声

1. 大屋根リング：壮大で眺望が素晴らしいだけでなく、日除けや雨除けとして機能性も高い
2. パビリオン：各国の文化や先端技術に触れ、多様な体験ができるて感動した
3. スタッフ：接客対応がますます洗練されており、多言語対応や障がい者への配慮もあり安心できた
4. イベント・ショー：様々なイベント・ショーや花火など、迫力と美しさで楽しめた
5. 会場全体：多くの休憩所や給水設備、ゴミやトイレの管理が徹底され快適に過ごせた

【実際の声】

- ◆ 世界中の様々な国の人々が万博という1つの目的のために考えて行動して会場ができていることに、とても感動した。
- ◆ 地球規模で将来を考えていく大切さを色々な国、観点から知った。最新の技術や取組みも、自分で見て、感じる機会だった。
- ◆ 小学生の息子は万博の最後が寂しく、子供にとっても印象深く、満足度が高かったのだと思う。万博のレガシーは、きっと子供達の中に残って、将来のイノベーションに繋がってゆくのだろうと感じた。
- ◆ 価値観がめちゃくちゃ変わった。現在過去未来を駆け抜けたような感覚になれ、自分にできることを何かしたいと思った。
- ◆ 万博が新しい未来へ向かっての始まりだと痛感し、今自分が出来る事から始めていこうと感じた。一日一杯楽しみながら、今そして未来へを考えることが出来る万博だった。
- ◆ いのちをテーマに掲げられた万博。楽しいだけではなく、生きることの意味や感動があり、自分を振返る良い機会になった
- ◆ 半年の間に臨機応変に対応されていたことを実感。万博開催に尽力された全ての方、開催中に関わった全スタッフの「人のチカラ」にすごく感動し満足！
- ◆ 警備・バス関係者の方々、ゲートやボランティアの皆さん、会場内のスタッフや万博を支えて下さった全ての方に、お疲れ様でしたと申し上げたい。有り難うございました。
- ◆ 万博に参加できたことに心から感謝。非常に多くの人で賑わっていたが、各国の文化や人々とのふれあいが刺激的で、家族で楽しむことができた。素晴らしい機会を本当にありがとうございました
- ◆ 行くほどにまた行きたいと思わせる場所だった。私達の中ですとずっと生きていくと思う。一生に残る想い出ありがとうございました。